



# 宮古みらい地域円卓会議

生活環境が激変する宮古島、  
今何が起こっていて、何が必要なのか

## 実施報告書

日 時： 2019年8月31日(土) 15:00-17:40  
場 所： JTA ドーム宮古島 会議室2 (沖縄県宮古島市平良下里 2511-35)  
主 催： 内閣府  
協 力： 沖縄 IT イノベーション戦略センター 南西地域産業活性化センター  
公益財団法人みらいファンド沖縄、NPO 法人まちなか研究所わくわく

報告書作成  
NPO 法人まちなか研究所わくわく  
公益財団法人みらいファンド沖縄

## 【報告】宮古みらい地域円卓会議



- 日 時：2019年8月31日(土) 15:00-17:40
- 場 所：JTA ドーム宮古島 会議室2
- 着席者数：9名（論点提供者、司会、記者を含む）
- 来場者数：58名（行政、市民、企業、NPO・市民団体等）
- 主 催：内閣府
- 協 力：沖縄 IT イノベーション戦略センター  
南西地域産業活性化センター  
公益財団法人みらいファンド沖縄  
NPO 法人まちなか研究所わくわく
- お問合せ：NPO 法人まちなか研究所わくわく

**論点提供** 愛澤 直樹 氏（宮古島市役所 企画政策部 企画調整課 政策調整係 係長）

生活環境が激変する宮古島、今何が起こっていて、何が必要なのか

### センターメンバー



愛澤 直樹  
宮古島市役所  
企画政策部  
企画調整課  
政策調整係 係長



三上 暁  
宮古島市役所  
企画政策部エコ  
アイランド推進  
課 エコアイラン  
ド推進係 係長



新城 浩司  
株式会社東和  
代表取締役社長  
兼 CEO



井上 美香  
宮古の海を綺麗  
にし隊 隊長



村田 大宗  
株式会社  
リチャージ  
プランニング  
マネージャー



陣内 義浩  
宮古島 Happy  
エコアイランド  
100万人プロジ  
ェクト チームリ  
ーダー



下地 芳郎  
一般財団法人  
沖縄観光コンベ  
ンションビュー  
ロー 会長

## ➤ 円卓会議に参加いただいた皆さんから（※板書記録を記載）

### 愛澤直樹氏からの情報提供

年次（平成を H と表記）	宮古島市の人口
H25 年度	54,290 人
H26 年度（伊良部大橋の開通）	54,128 人
H27 年度	53,812 人
H28 年度	53,778 人
H29 年度	53,847 人
H30 年度（陸上自衛隊の開庁）	54,558 人

- 社会増が主な要因 この2～3年で増え始めた
- ホテル・旅館・ドミトリー等が増えている
- 【建築確認申請】H24年：233件、面積64千平米、共同住宅51件。H29年：307件、面積14万平米、共同住宅80件
- ホテル増の理由：観光客の増加
- 【ホテル・旅館の数】H27年：43件。H30年：58件
- 【民宿、ペンション、ゲストハウスなどの宿泊施設の合計】H30年度：252件
- 【入域観光客】H26年：51万人（内、クルーズ船：1万9百人）。H30年：114万人（内、クルーズ船：45万人）
- 【観光関連消費額】

年次	金額
H23 年度	172 億円
H24 年度	189 億円
H25 年度	183 億円
H26 年度	315 億円
H27 年度	401 億円
H28 年度	474 億円
H29 年度	512 億円

- 【観光客の消費額（一人あたり）】H23年：5万1千円。H29年：7万3千円（飛行機で来た方）、1万5千円（船で来た方）
- 【地価（平均）】H26年度：18,200円/平米。H30年度：21,200円/平米
- クルーズ船が来ると、タクシーが空港で捕まらなくなっている。週3回はクルーズ船が来る

### 三上暁氏からの情報提供

- 宮古島市の税収

年次	固定資産税	住民税	合計
H26 年	24 億 6 千万	18 億	48 億 1 千万
H27 年	24 億 3 千万	18 億 2 千万	48 億 3 千万
H28 年	24 億 8 千万	18 億 6 千万	49 億 9 千万
H29 年	26 億	21 億	54 億 2 千万

※単位：円

- 税収が増え、様々な経済活動が増えているが、観光客が増えることによる負荷と市民の皆さんの幸福度とのバランスが取れているのかを、明らかにする必要がある
- 地域経済分析はこれから
- どこからお金が来て、どこへ行っているのか
- 観光客が、これほど急激に増えることは予想していなかった
- 自然環境あつての観光
- 【ゴミ】H27年：1万7千トン、H28年：2万トン、H29年：2万1千トン
- 可燃・紙・粗大ゴミが増えている
- 家庭ゴミ・事業ゴミが増えている
- 【電力】H26年度：25万9千MWh/年、H29年度：27万2千MWh/年
- 【電力のピーク（夏・夜）】ここ5年間で、5万kW程度から6万kWに増えている
- ピークに合わせて設備を整える必要がある。しかし、観光客数がどう変化するのか等により、予測が難しい

### 新城浩司氏からの情報提供

- 【軽自動車数】H21年：2万3千台、H30年：2万9千台
- 沖縄県内のレンタカー代は非常に安い方で、毎年の車検代をどれだけ押さえるかが必要となる。整備する側からすると、割に合わない仕事が増えている。低値で安定してしまっている
- 車の技術は進化が早い
- 島内でフェラーリが走っている
- 働き方改革
- 人口が増えているといっても、2000年から減っている
- エリア別の人口は、増加している所と減少している所がある。また、高齢化が進んでいる
- 運転免許自主返納者が年々、増加している
- 中心部以外の高齢者は移動をどうしていくのか、交通問題がある
- マース（MaaS）、移動の権利
- まだ行政と民間の対話はこれから
- 変化への予測と準備
- 電気自動車・売電

### 井上美香氏からの情報提供

- ビーチクリーン活動を3年続けている
- SNSなどで、周知・発信が大事
- 漂流物を2～3時間で1トン拾うこともある
- 当初はクリーンセンターがゴミを引き受けてくれなかったが、今は、ゴミを回収してくれることになった
- きれいな海だからこそ人が来てくれる

- 行政と民間が一緒にタッグを組んで取り組みたい
- ビーチにゴミ箱がないので、ゴミがまとまっている場所にゴミを捨てられる
- パトロールのネットワーク

#### 村田大宗氏からの情報提供

- 2016年に引っ越してきた
- 「良さそうな物件は、すぐに無くなるよ」と言われた
- 住環境の変化。住むところがない
- IT関連の人材は、まだ少ない、みえていない
- 観光・MICE
- サテライトオフィスの誘致
- 人脈をつなげると、喜ばれる

#### 陣内義浩氏からの情報提供

- 水をいかに守るか
- 家庭からの排水
- オリジナルブランドの石鹸を作っていきたい
- 女性の意見を形に
- 危機は通り過ぎて、いかに活動するか

#### 下地芳郎氏からの情報提供

- オーバーツーリズムが、近年、イタリアや京都で言われてきた
- 一時的に多くの人が入ってくることによって環境への負荷を与える
- 観光客数は昨年 114 万人/年。宿泊容量は約 9000 人/日。一日当たりの観光客数は 5000~7000 人/日
- 市の役割がより重要に、宿泊税
- これまで 40 年、観光に取り組むことが県民の幸せに繋がるとして、取り組んできた
- 10 年・20 年のスパンでみる必要がある。長期的な視点を持つ
- クルーズ船一大きなきっかけ、世界的な波
- 住民、行政、NPO、事業所、観光客での対話が求められている
- 沖縄は、3つのエリア「本島」「宮古島」「石垣島」がある。エリアごとの政策が必要
- 14 億人程度の方が世界中を旅行している
- アジアに来る人も、出る人も、今後増えていく
- アジアの都市の空港整備が大きくなるほど、各周辺地域に良い面も悪い面も確実に起こるため、工夫が必要
- 世界的な視点とローカルの視点の両方が必要

#### セッション2における情報提供

- 島内のお金がどこから外に流れているのか、データを基に突きとめる必要がある
- 統計データを見るだけで、普段思い至らなかったところが分かったため、データを大事にしなくてはならないと分かった
- 観光客の方と一緒にビーチクリーンを行い、島の魅力をどれだけ島民が伝えられるかが、観光の影響をプラスに持って行ける要因だと思う。このような活動が出来るリーダーを育てると良い
- 条例として環境税を作り、地域ごと使用できる財源をつくる必要がある。今も、ダイバーは1日 500 円を払っている
- 宮古島発祥の、環境に良い商品を販売していく必要がある
- 宮古島の負荷価値を、民間と行政で対話しながら高めていく必要がある
- 島外から来た人の目線(知識・経験)と島の方の目線を、交流して共有する必要がある
- データを集めて一か所で見れるプラットフォームが必要
- 宮古島市の観光客数など、データの信憑性を疑ってみる。漠然とした数字で議論を拡大するのは危険である。正しい数字をつくるのがスタートとして大事である
- 農業や製造業、商業の売上など、各産業と観光業の関係をふまえ、観光の経済効果を考える必要がある
- 観光で来ている方がどのような方かを把握して、宮古島の方から交流の機会を作っていき、観光客のノウハウを地域に落としとしていく仕組みを考える必要がある
- 観光客を悪者にするのではなく、自らのライフスタイルを見直すことも必要
- 観光は、外的要因の影響を受けやすいため、変動が激しい。必ず落ちる時が来る。それをふまえ、どのように地域が強くなるかを考えなくてはならない

## ➤ 今後のアプローチの方向性（提案）

### 1) 調査・分析

今後の地域の変化を、官民のあらゆるデータを持って調査分析し、中長期の予測を立てる。そしてこのデータを官民で共有すること

### 2) 主体性を取り戻す議論を

調査分析で得たデータを元に、観光産業がもたらす経済効果と社会効果を取り込みつつ、環境と生活への負荷を織り込んだ議論を行うこと。島民（行政・地域住民・企業）が主体性を持ち、島民で合意（納得）できるコンセプトを作ること

### 3) 官民（そして観光客）ステークホルダー連携

島内議論で合意したコンセプトを元に、増加する来島者に対して、エコアイランド宮古島からのメッセージをしっかりと伝えること。そして官民来島者と連携しながら、今後発生する（行いたい）新規事業を創出していくこと

## ■参加者によるサブセッション

### 生活環境が激変する宮古島、 今何が起きている、何が必要なのか

(参加者記載の原文をそのまま記載している為、事実と異なることがあります。グループ毎に①、②・・・と記載)

- ① ○何が起きているのか？
- ・家賃の上昇
  - ・人の住みずらさ→給料は上がってない社員、バイトの方が良い
  - ・TAXI、バスが少ない
  - ・くるりんバス？周知されていない。下地島 空港～市内のバス
  - ・クルーズ船入港での島民のメリット？ 交流ない
  - ・平良港、クルーズ船の整備。誰のため？何のため？
  - ・海の死亡事故、環境問題、海ゴミ
- 何が必要？
- ・家賃や空き部屋、建設ラッシュが落ち着けばO.K.？
  - ・宿泊税に島民、市民の声を！
  - ・質の高い観光客を島が選ぶ時代 環境の事、島を愛してくれる人を受け入れ
  - ・困っているおじい、おばあの為の送迎サービスの導入
  - ・海のマリン業者にミシュランをつける。優良業者。環境に配慮しているなど
- ② 一起こっていること、感じていることー
- ・海岸線のビーチにホテルが並んだ事で、出入りしにくくなった
  - ・地元の人より観光客の方が、ゴミ拾いをしたり、意識が高いと感じる
- ーアイデアー
- ・公共交通手段バスが郵便局に止まって欲しい
  - ・地元の人と意識の高い観光客の交流機会を増やすことで、意識高い観光客を増やす。データによる見える化。プラットフォーム
- ③ 今、何が起きているのか、何が必要？
- ・長い目で見るとそこまで問題？→知らない事が多すぎた
  - ・メディア（SNS）と現実のギャップがある =あおりがすごいよね 家賃上昇
  - ・市がやっている投資が不透明
  - ・建設と観光が結びついている→税収がどう入って、どう出て行くのか？ 市は収入と支出を明示する
  - ・島内の現状 経済的な恩恵を受けている所 VS 受けていない所
  - ・観光客価格 地元価格 地元割りを設ける？
  - ・問題 住民の保証がナイ→数を制限する？、島民への優待をする？島民割り
- ④ 教育一人材育成
- ⑤ オーバーツーリズム
- ドライバー不足。クルーズ船が来ない日は余る
- 観光客が落とすお金を高くする
- 付加価値を上げる努力
- どんな人材がいたらいいか。・チーム力を高められる人、・適材適所ができる、・リーダーシップがとれる
- 宮古の人を巻き込んで、やらせる!! 街づくり
- ⑥ 人材不足、働く人の割合少ない、人は多い、観光物、あと、商クルーズ先（ウワサ）、モノがない（中国）
- ・宮古としては人を呼んでたので、しかたない。
  - ・クルーズ減らして欲しい
  - ・家賃気になる。値上げ
  - ・車多い、混む。MAX バリュウ品なし

- ・市場品少、高齢化世代交代、増設した所でも・・・
  - ・居酒屋、人がいない所探す。予約しても入らない
  - ・子ども夜コンビニ、親目線で・・・ →文化に合わず事も、住民との旅行末に GAP うめる。
- ⑦ ・家、人材、住民票（人口統計）
- ・賃金→平均以上の賃金、付加価値
  - ・まず、人を戻す。主人公となるべき人々（できれば U ターン）
- ⑧ オーバーツーリズム、増加目めざす、宿泊税、ホテル電力自前、教育格差（子ども）、市民生活・人手不足
- ☆観光業以外に実感がない
  - ☆12時過ぎても、人がいる。ガラが悪い。
  - ☆小売りがなくなってきた。量販店、民間
  - ☆文化財をキレイに
  - ☆食文化の向上→食を求めている
  - ・人口 0.2%増、住民税 12%増
  - ・収入が増えているのではないか
  - ・農家は観光客が増えても影響なし
  - ・観光面＝一般の車を TAXI 化
  - ・宮古にいるからこそ、子育てができる／教育ができる
- ⑨ ・ゴミ問題、環境問題
- ・レンタカーが足りない
  - ・荒らされることが嫌、マナー
  - ・いろんな人が来ている
  - ・どこに行っても混んでる
  - ・宮古にお金を落として欲しい
  - ・自然が減ってる
  - ・知識がない人への対応
  - ・行きつけ場所が入れなくなった
  - ・クルーズ船が来ると、外に出なくなる。時間をズラして・・・
  - ・島民がポイ捨て
  - ・エコアイランド
- ⑩ ・旅客数増、便数は増やせない
- ・下地島空港ができて分散
  - ・観光客、急激に増えすぎて対応できていない
  - ・クルーズ受入計画、下地島空港の利用の合計 200 万人
  - ・路線は増やせるがホテルがない
  - ・クレームは多くなっている。受け皿不足
  - ・観光振興計画アンケート結果では印象は悪い
  - ・観光客も断るお店もある
  - ・渋滞が発生している箇所がある
- ⑪ ・黒島、砂川、藤村
- ・オーバーツーリズム
  - ・バブルがいつ終わるか
  - その後の住居等の空き
  - ・バブルとは？
  - 土地の高とうは場所による
  - ・観光地は世界中で起こっている事
  - ・持続可能な観光とは
  - 人と人との繋がりが大事
  - ・キャパはどれくらいか
  - 適性の観光客数はどれくらいか
- ⑫ ・増えたお金はどこへ？
- ・島民が飛行機に乗れない
  - ・有料駐車場
  - ・入島税
  - ・ビジネスチャンスは誰のもの？
  - ・島外からの人
  - ・元々いた人は？
  - ・とらえ方によって
  - ・余剰利益を島に
  - ・住宅問題＝空き家
- ⑬ ・西川さん 学習塾
- ・藤城さん パラダイスプラン JTB
  - ・梶原さん 市役所
  - ・持続可能な社会
    - －教育の話 子どもが育てにくい
    - SNS、NET のせいか子どもが遊ばない

感応するから知りたい気持ち出る

・・・に大人は発信少ない

ー観光受け入れ整備必要

入域を制限する必要ない

智一経済への還元…

外国人みる機会多いので交流など

教育に生かせるのでは

- ⑭ ・宮古にたりないものは？
- ・宮古島らしさとは？
- ・地元の人達の意識をあげていく→教育子どもたち
- ・どういう地域づくりができるか
- ・宮古島条例を作る
- ・観光税を徴収するとか（観光条例）
- 活動資金づくり
- ・循環づくり
- ⑮ ・地元は紙ベース
- ・時代が遅れてる、情報遅い
- ・U ターン者の悩み、仕事、能力活かせる場がない
- ・観光多い、対応遅い
- ・今さらの話し合い→即行動！！
- ・ビーチクリーン×シュノーケリング
- ・お金払ってもやる人はいる

・観光客、島民をいかに巻き込んで企画するか！

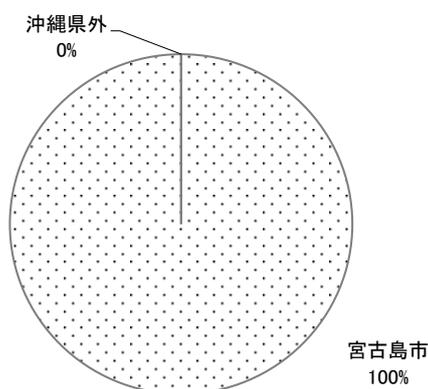
- ⑯ ・観光客  
増える不安（水）  
ホテル、水の確保  
観光客の質の向上  
課題に対する仕組づくり
- ・ゴミ、増加することへの対応
- ・経済一付加価値（単位 up）の目標値
- ・人材ーどこに働く人がいるのか？  
上手に値上げできる経営
- ・良いお客様バッチ
- ⑰ ・平井さん 24年 講師 ファシリテーター
- ・加藤 和平改良組合青年部副部長
- ・吉浦（ヨシウラ）さん マイナス IT 法人（福岡、宮古島）
- 長いスパンでみると、地域経済は？  
行政の限界、民間も・・・  
マクロでは、マーケットは無限  
クルーズ船→地元にお金が落ちない  
チャンス 売り先は世界、IT の技術  
宮古島の問題を現場でみて IT で解決した・・・
- ⑱ 人材 ビジネスマインド×ビジネススキル×  
スコープの大きさ

## 宮古みらい地域円卓会議 参加者アンケート集計

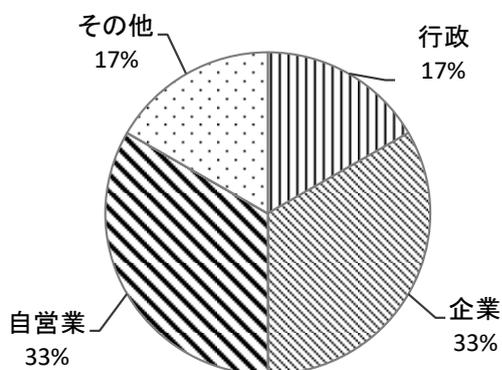
### ◆概要

- ・日時：2019年8月31日(土) 15:00-17:40
- ・場所：JTA ドーム宮古島 会議室2
- ・着席者：9名(論点提供者、司会、記録者含む)
- ・参加者：58名(アンケート回収18名、回収率31%)

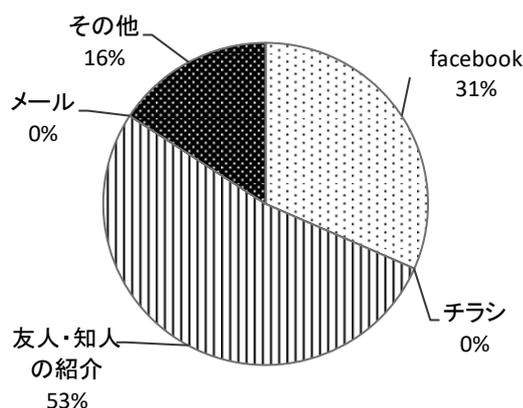
### 1. どちらから？



### 2. 所属



### 3. 円卓会議はどのように知ったか



### 4. 満足度

平均：3.8 (5点中)

5.満足	4.概ね満足	3.普通	2.あまり満足していない	1.不満足
6名	6名	2名	2名	1名

### 5. 満足度の理由

#### (5. 満足)

- ・このような会を設けて、様々な方との話し合いの場を作って頂いた。継続していくことも大切ですし、もっと多くの人々が参加していく環境を作っていくと、もっと良いと思います。
- ・なかなか民間の方と宮古島の現状、不安に対して話し合う機会がなかったので、新鮮で貴重な体験でした。
- ・色々な企業の方や、宮古島を何とかしたい方々の集まりに参加でき、見方や考え方が新しくなる。
- ・たくさんの考えや意見等が今後も聞きたい。
- ・色々知らないこと、小さな視点でしか見てなかった自分に、気づかされる事もありになりました。特に、下地さんのお話がすばらしかった。
- ・自由に一般の方を含め、意識のある方々が集まって、宮古島の課題について共有し、意見が出て来たことが良かったです。
- ・想像以上の広いジャンルの方々とコンタクトが出来、今後の活動の具体的アクションに活用出来る様に思った。

#### (4. 概ね満足)

- ・行政として、必要な民間の方々の話を聞いた
- ・有益な情報があったと思う
- ・観光税、(100万人プロジェクトの方)
- ・グループセッションで普段考えているような事を、皆さん思っている事がわかりました。
- ・行政の方だけでなく、民間の方達と話ができて、きくことができたことは、すごくよかった。

- ・ まわりの人の意見をきくことができたことが1番よかった。
- ・ 他分野、民官の方々の話、議論ができたこと
- ・ 前半のデータのすり合わせ（ヒアリング）の時間は、もっと短縮できた。

### （3. 普通）

- ・ セッションはすごく良かったのですが、グループディスカッションがまとまらずだったので、次に活かす。また最終でグループで話し合えたらと思いました。

### （2. あまり満足してない）

- ・ 今さらなお話が多く、情報も少ない。
- ・ もっと皆さんが実際にやっている取り組み、また、島外での事例等、具体性のある話を聞きたい。本日は忙しい中、貴重な円卓会議をありがとうございます。
- ・ 今の宮古島での現状
- ・ 観光業オーバーツーリズムに対して、主に客船に対して、日に2隻は多すぎる。台風の後、物資船の先に観光船を寄港していたり、市民は後という考えが市にあるのなら、どういう市なのか？観光船を断ってほしい（台風の後など）

### （1. 不満足）

- ・ ほとんどの参加者は知っている話を聞かされただけ、内閣府の方々向けの勉強会、情報収集の場

## 5. 円卓会議で印象に残ったこと

- ・ スライドのプリント（資料）が欲しい
- ・ ホワイトボードの書き上げている書、スグにプリント
- ・ 思っていたよりも、人口や税収が伸びていないと感じました。島民や島の行政、企業が主体となって「島にきちんと還元する仕組み」を考えていくことが重要だと思いました。
- ・ 宮古島の条例を作るという事はいいと思う。
- ・ アンテナショップ案
- ・ 宮古島の生活について感じていること、行政

は何をやっているんだろうか、という疑問が出る中で、市も同じように生活については感じていて、その対策として様々な取り組みを行っているのに知られていないんだということを感じました。市の発信力について見直す必要有りですね。

- ・ もっとSNS等活用していければと思います。
- ・ 子ども達がSNSに集中して、宮古島の文化や自然に触れる機会が少ない。市民の声を下から上げていくことが大切ということ
- ・ 観光客が落とすお金の流れをはっきりとさせる事で、地元に戻元できる事が見えてくると思う。
- ・ クルーズ船での観光客交流が大事
- ・ 市民の意識をどう変えていくかも大事
- ・ 人材育成（宮古だけでなく全国問題観）
- ・ お金を増やす為に、今「宮古島」として何をやるか。
- ・ 宮古の観光客も、必ず変動はある
- ・ 観光客税（宿泊税）だけでなく、レンタカー税があってもいいという意見がきけた。
- ・ 個人的な意見では、宮古島市だけのルールがあっても良いのかなと思います。例えば、ポイ捨て罰金税など
- ・ 行政と民間の話し合いの場、農協や商工会議所のTOPとだけでなく、今日みたいな場ももうけ、その中身をしっかり持ち帰り、行政内で実現に向けて動いてほしいです。
- ・ 機会があれば、また参加したいと思います。
- ・ 提案ですが、教育機関の方々にも案内してほしいです。人材育成の面から
- ・ 外の目線／島の目線 ひざをつき合わせての交流
- ・ 環境税での収入
- ・ 使えるお金だけでなく、来島した人の意識が変わるような取り組みを広げたい。
- ・ 将来を見すえた人材育成は重要だと思います。
- ・ Happy エコアイランドのエコ再生せっけんな

ど、興味がある。

- 観光10年沖縄のマイナス要素。今後の事を、この円卓会議を年に1回や2回なり続けていく事が大切なので、続けてほしい。
- 宿泊税は県民以外にしてほしい。
- データを見ながら話をするのは、とても良かった。次回は正しいデータで、話をききたい。
- 地域と深い関わりを持つ、地元の人を中心メンバーになく、・・・中心

(写真) 会場の様子



# 宮古島の未来像デザイン人材育成事業

## 第1回みやこみらい円卓会議

2019年8月31日(土) 15:00~17:40 JTAD-IM宮古島

3年ほど前、25人プログラム、島外若手と島内持続可能な人材育成

誰かの困りごとを社会課題として共有する

生活環境が激変する宮古島、今何が起きている、何が必要なのか?

主催 内閣府  
主催 (-財)南西地域産業活性化センター  
協力

平良、愛澤、下地、三上、陣内、新城、村田、井上

データをもっと先読みしておく力、定だけておく、戻して、フランス生活課題 → 住民セクター 対話してあげる

# 論点提供

## 愛澤直樹 氏

宮古島市役所企画調整課

### 人口

H25	54,
H26	54,
H27	53,
H28	53,
H29	53,
H30	54,

伊良部町 降上町

### 社会増減

が主な要因 2~3年で増えはじめた

### ホテル・旅館・ドミノ等が増えている

建築確認申請	共同住宅
H24 233件 64万平米	51件
H29 307件 14万平米	80件

### ホテル増の理由

観光客増

課題として  
H27 43件  
H30 58件 (252件)

### 入域観光客

クルーズ船	45万
全体	515 (14万)
2014	2017

### 消費額(観光関連)

H23 172億円	H29 47.4億
H24 189億	H29 51.2億
H25 183億	ヒリあたり
H26 315億	H23 5.54億
H27 401億	H27 5.34億/5.5%

# 三上暁 氏

宮古島市役所エコ3

### 地価

平均 H 18,200円/平米

H30 21,000円/平米

### 収入

年度	固定資産	住民	合計
H26	24億6千	18億	42億3千
H27	24億3千	18億2千	42億3千
H28	24億8千	18億6千	43億4千
H29	26億	21億	47億

### ゴミ

H27 1.7トン  
H28 2.5トン  
H29 2.5トン

可燃・紙・衣類・プラスチック

### 電力

25.9万円/月 → 27.3万円/月

ピーク(夏季) 5000kw → 5年 6500kw

### エネルギー

水、ゴミ処理

### 観光客増 市民感覚

市民の幸福度 ↔ 環境負荷

地域経済分析はホカ

どこかお金がきて、どこか作ってる

これほど急激に増えることは予測していなかった

自然環境ある観光

人口と観光客数 どう推計するか

# 新城浩司 氏

### 車の台数が増えている

2009 軽2.3万台 → 2.9万台  
2010

タクシー → 安い → 安いので仕事しなくなる

低値で安定している

車の技術進化早い

島内で走り回っている

働きかた改革

人口減っているとしても2000年が人増えるエリアで集中している人増えている

高齢化 → すすんでいる

免許返納率 中心部以外の高齢者どうするか

交通問題 マス 移動の権利

### 水・電気

まだ行政と民間の対話はこれから

変化への予測 準備

電気自動車 充電...

### 井上美香 氏

3人暮らし

ピンチクリン活動(3年)

周知 発信が大事

SNS

ムラ流物 → 2~3年で100%増

グリーンセンターがはじめてくれた

きれいな海だから人が集まってくる

6月グリーンセンターが回復してきている

行政と民間が話し合えるように

観光客によるゴミがゴミとよぶ

1P1コールのネットワーク

# 村田大宗 氏

(株)リサーチデザイン

2016 立ち上げた

住環境の変化

IT関連の人材まだ少ない、おいてない

観光・MICE

サテライトオフィス 増える

大人数が来る、よくなる

# 陣内義浩 氏

宮古島Happyエコ3イランド

水いかに守るか

家庭の排水

オジジランドの右側コンクリート

女性の意見と形

キキは通っている、いかに活動するか

これまでに40年観光に依りかかっている

県民の幸せにつながることで、やりかた

10年20年のステップが必要

長期的視点

クルーズ ← 大きな宝庫

世界的視点

行政

民間(事業者)

MPO

工夫が必要

件外人が旅行している

中国人 東南アジア

くる人を入れる人もある

さびの空港整備

クルーズが戻ってくる

# 宮古島の価値を高める

外の目標/知識経験

島の目標/

びびりおわせて交流

経済効果

社会効果

交流

観光客とよくなった

環境を守る活動の可能性は?

いっしょにピンチクリン

宮古の価値を高める

お金がどうなっているのか?

データとヒ3ク

外人流れてるならば

データを大事に

市民共有

環境後

財源をつくる

事例をつくる

地域ごとに

人材育成

環境にいい商品の紹介

地理的紙ベース  
時代が過ぎた。情報通信  
Uターン者の増加。A層の能力  
和の増加。  
観光客の増加。行楽客。  
今時の観光客 → 即 行楽客  
ビートルズ × シン・ケル  
子供が来る。大人は来る。  
観光客。島民は来る。  
島民。島民は来る。

黒島 砂川 藤村  
オー・ビ・ツ・リズ  
パイナルがいつ終わるか  
パイナルは？  
土地の高さは場所による。  
観光地は世界に  
起っている。  
Uターン可能な観光地。  
Uターン可能な観光地。  
Uターンの性質等。空室  
Uターンの観光客は観光客。

島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係

島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係  
島民の生活と観光客との関係

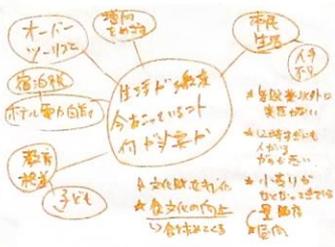
西川 藤村 菅野  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者  
藤村のUターン者

観光客  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加

観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加

観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加  
観光客の増加

Uターン問題 環境問題  
Uターン問題 環境問題



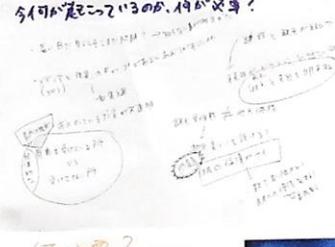
家  
人材  
資金 → 平均以上、付加価値  
Uターン  
住民票 (人口統計)  
ます。人材不足。主人公と島民の  
(これはUターン)

人材不足  
人材不足  
人材不足  
人材不足  
人材不足  
人材不足  
人材不足  
人材不足  
人材不足  
人材不足

Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者

教育  
人材育成

海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン  
海産物のUターン



Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者

Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者

Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者

Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者  
Uターン者